

四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 令和元年7月10日（水） 午後2時00分～午後3時00分
2. 開催場所 四国中央市 新宮窓口センター2階大会議室
3. 出席者 委員 出水武美、野村浩、山本正行、藤原清子、藤原孝子、三鍋邦代
(敬称略)
事務局 観光交通課長 吉岡達也、観光交通課交通政策室長 篠原克昌、
課長補佐 大岡潤、係長 石川恵次
(欠席者) なし

会議の概要

1. 会長挨拶
2. 自己紹介

全員出席により各自、自己紹介を行った。

3. 議 事

- ①30年度の福祉バス利用状況について

30年度利用状況の前に事務局から、29年度は路線等を変更したため比較するにあたり、29年度の概要について再度説明をした。29年度は、福祉バス9路線の運行業務を行なった。瀬戸内バスが、29年9月30日をもって新宮～天日間の運行を廃止したため、上山下部線を増便した。また地域住民の移動手段の効率化を考え、新瀬川線及び上山上部線の土曜日運行を廃止し、鳩岡・茂地線及び天日・茂地線は全便廃止すると共に、平日の運行時刻変更も行ない、全路線の見直しを行なったと報告した。

30年度利用状況については、資料1ページ目より月別路線別の利用状況を掲載しており、一般（現金）利用者数全体では2,867人である。内、新瀬川線については、一般（現金）利用者が749人。2ページ目の(2)通学による定期券利用者が1,186人と、回数券による利用者は1,342人でした。更に同ページの(3)しこちゅーチケット利用者は0人だったので合計すると年間利用者数は3,277人の利用となり、路線全体では5,431人の利用があったと報告した。

資料3ページ目より、年間利用者数を23年度から30年度までをグラフ化したもので、全体的に右肩下がりの傾向にあるが、上山下部線については昨年度から103人増加している。これは、今回の瀬戸内バス廃止に伴う利用者増もあるが上山上部線の一部の利用者も乗車したと考えている。どの路線も地域住民にとっては必要不可欠な路線であるため今後も継

続していきたい。と報告した。

8ページ目は、昨年度の運休及び路線変更を掲載している。何れも長雨や台風の影響で路肩崩落などが理由であると報告した。

②運輸局への登録更新の年（来年度）に向けた見直し等について

町内7路線の内、日浦線は特に年間利用者が少ないので効率的な運行をしたいと考えている。また、週一回の大谷線、杉谷線、田の内線は、運行時間等は現状維持と考えているが、利用者から農協を利用しやすいよう大窪から国道319号線を通るコースに変更してほしいという要望が上がっている。利便性が向上されるため、今後、ルートの変更を考えているが如何なものか。の問いかけに全員了承された。事務局から、来年度の更新時に運行を見直す材料としたいので他にも意見や提案があればお聞きしておきたいとお願いした。

委員から、14人乗り車両ではなく10人乗りくらいの今より小さい車両にしてはどうかと意見が出た。事務局から、上山上部線や新瀬川線で使用している車両は5年が経過、上山下部線で使用している車両に至っては4年が経過している。他市の更新データ等参考にしたいが車両入換えにはまだ早いと考えている。しかしながら上山上部線で使用している車両は現在、エンジンオイルがエンジン内部で燃焼しているので修理もしくは交換の必要がある。それに合わせて新瀬川線は14人乗り車両で据え置くが、他の路線は山間部の道幅や小回りがきき易いことなどを考慮すると、10人乗りの車両に入れ替えることも同時に検討したいと回答した。

委員から、乗車が少ないことを理由に、一度路線を廃止してしまえば復活は難しいので財政面だけで考えるのではなく、利用者のことを一番に考えて運行してもらいたいと要望があった。事務局から福祉的な観点から無視できない部分でもあり一概に利用者の減少から廃止へと繋げるのは十分注意すべき点でもある。財政面とすりあわせながら、その点を留意して運行を検討していきたいと回答した。

合わせて、日浦線の一部で住家のないところ（下市仲（中山口～カナリヤ））を通るのではなく、ルートを変更することにより、住家のあるところ（中市仲経由（中山口～中市仲～カナリヤ））を通ると、今すぐ利用が見込めなくとも近いうちには利用の増加が見込めると考えられるので地元の意見を聞きながらルートを検討していきたい。と付け加えた。

③その他

委員から、土曜日や日曜日に新瀬川方面に歩いていく人を見かけるが福祉バスは運行しないのか。と質問があった。そのことについて福祉バスは運行していないが瀬戸内バ

スが一日4便を毎日運行しているので瀬戸内バスで対応できているのではないかと事務局が回答した。

他に、委員委嘱の任期が今年9月30日で満了となるので、8月広報便にてチラシを配布、また市のホームページでも公募することをお伝えした。

次に1名の運転手が、平成31年3月31日で65歳の定年となり1名を公募した結果、応募がなかったので引き続き定年延長として雇用していると報告した。

委員から、夢物語かも知れないが、家から各施設まで移動できる運行方法も考えてほしいと提案があり、福祉バスは決められた路線を運行するので一軒1軒対応するのは難しいが、将来、外出支援バスでクリアできないか福祉窓口とも確認しながら検討していきたいと事務局より回答した。

その他として道路上の落石や倒木で道を塞いでいるなど発見した場合は、事務局に連絡くださいとお願いした。

他に、各委員から意見等も無かったので閉会した。

(閉 会)